



## ACS 3.x および 4.x と ACS 5.5 の機能比較

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.5

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.5	注
<b>プラットフォーム サポート</b>			
1111	Yes	No	
1112	Yes	No	
1113	Yes	No	
1120	Yes (4.2)	Yes	ACS 5.0 出荷アプライアンス
1121	No	Yes	ACS 5.2、5.3、5.4、および 5.5 出荷アプライアンス
3415	No	Yes	ACS 5.4 および 5.5 出荷アプライアンス
3495	No	Yes	ACS 5.5 出荷アプライアンス
Windows Server	Yes	No	
仮想マシン	ESX 3.x	ESX i5.0、i5.0 update 2、i5.1	
<b>コンポーネント</b>			
ACS for Windows	Yes	No	ACS 5.5 では Windows Server はサポート対象外です
ACS Solution Engine	Yes	No	ACS 5.5 固有のアプライアンス オプションを提供します
ACS View 4.0	Yes	No	ACS 5.5 では表示機能を統合しました
ACS Remote Agent	Yes	No	5.5 では Remote Agent は必要ありません
ACS Express 5.0	No	No	
<b>アプリケーション統合</b>			
CiscoWorks Common Service (CSM/LMS 用)	Yes	No	
Cisco Wireless Control System (WCS)	Yes	Yes	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.5 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.5	注
<b>分散モデル</b>			
単一プライマリ / 複数セカンダリ	Yes	Yes	
カスケード複製	Yes	No	
レプリケーション トリガー	手動またはスケジュールごと	設定変更時	
レプリケーション ユニット	レプリケーション コンポーネント全体	delta 設定のみ	
同期	ゆるい	きつい	
自動停止再同期	No	Yes	
内部ユーザのパスワード更新	プライマリのみ	プライマリのみ	
ロールベースのセカンダリをプライマリに昇格	No	Yes	
<b>ID ストア サポート</b>			
内部	Yes	Yes	
Active Directory	Yes	Yes	
LDAP	Yes	Yes	
RDBMS	Yes	No	
RSA SecurID	Yes	Yes	
その他のワンタイム パスワードサーバ	Yes	Yes	OTP サーバに RADIUS インターフェイスを使用
<b>AAA プロキシ サポート</b>			
RADIUS プロキシ	Yes	Yes	EAP プロキシを含む
TACACS+ プロキシ	Yes	Yes	
<b>ロギングの宛先</b>			
ACS View	Yes	Yes	
Syslog	Yes	Yes	
ODBC	Yes	No	ACS 5.5 は、View のログ データを外部データベースと同期して保存することができます
<b>クエリー/プロビジョニングの設定</b>			
Web ベースの GUI	Yes	Yes	
CSV ベースの更新	Yes	Yes	
CSUtil	Yes	No	
RDBMS 同期	Yes	No	
<b>管理</b>			
SNMP クエリー	Yes (アプライアンスのみ)	Yes	
SNMP トラップ	No	Yes	
アラーム表示	Yes	Yes	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.5 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.5	注
GUI	Yes	Yes	
Cisco 標準のロック アンド フィールド GUI	No	Yes	
CLI	Yes (アプライア ンスのみに制限)	Yes (IOS と同 様)	
一部の設定を変更するとシステ ムが再起動します	Yes	No	
KVM コンソール アクセス	No	Yes	
ファイル転送ストレージ リポ ジトリの選択	No	Yes	
配置済みの、バージョンをまた ぐアップグレードの手順	No	Yes	
リモート アップグレード/パッ チ実行	Partial	Yes	
<b>サポートされるプロトコル</b>			
PAP	Yes	Yes	
CHAP	Yes	Yes	
MS-CHAPv1	Yes	Yes	
MS-CHAPv2	Yes	Yes	
MAB	Yes	Yes	
EAP-MD5	Yes	Yes	
EAP-TLS	Yes	Yes	
PEAP-MSCHAPv2	Yes	Yes	
PEAP-GTC	Yes	Yes	
PEAP-TLS	Yes	Yes	
FAST-MSCHAPv2	Yes	Yes	
FAST-GTC	Yes	Yes	
FAST-TLS	Yes	No	
LEAP	Yes	Yes	
<b>TACACS+</b>			
コマンド許可	Yes	Yes	
アカウントिंग	Yes	Yes	
単一接続	Yes	Yes	
パスワードの変更	Yes	Yes	
イネーブル処理	Yes	Yes	
カスタム サービス	Yes	Yes	
任意の属性	Yes	Yes	
CHAP/MSCHAP 認証	Yes	Yes	
属性の置換	Yes	Yes	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.5 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.5	注
<b>ACS パスワード ポリシー</b>			
複雑度	Yes	Yes (強力)	
履歴	Yes (最後のみ)	Yes (複数)	
有効期限	Yes (日付、ログイン、最初のログインごと)	Yes (日付順)	
有効期限の警告	Yes	Yes	
猶予期間	Yes	No	
<b>アカウントのディセーブル化</b>			
日付による	Yes	Yes	認可ポリシーを使用して実装できます
失敗した試行による	Yes	Yes	
非アクティブによる	No	Yes	
<b>ネットワーク デバイス</b>			
各 TACACS+/RADIUS エントリ	Yes	Yes	
階層型のスケーラブルなデバイスのグループ化	No	Yes	
デフォルト ネットワーク デバイス	TACACS+ のみ	RADIUS および TACACS+	
グループ レベルの共有秘密	Yes	No	
IP アドレスのワイルドカード	Yes	Yes	
<b>アクセス ポリシー</b>			
柔軟な、規則ベースのポリシーモデル	No	Yes	
必須 ACS グループ割り当て	Yes	No	
複数のグループ メンバーシップ	No	Yes	
静的 IP アドレス割り当て	Yes	Yes	拡張スキーマ、ポリシー
最大セッション数	Yes	Yes	
グループのディセーブル化	Yes	Yes	ACS 5.5 ポリシーに実装
VOIP サポート	Yes	No	
ToD 設定	Yes	Yes	
コールバック	Yes	Yes	Windows のコールバック設定は ACS 5.5 では使用できません
ネットワーク アクセスの制限	Yes	Yes	
クォータの使用状況	Yes	No	
オプションをイネーブルにする	Yes	Yes	ACS 5 ポリシーに実装
トークンのキャッシング	Yes	No	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.5 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.5	注
IP アドレスの割り当て	Yes	Yes (スタティックおよび AAA クライアントプールのみ)	スタティック IP アドレスの割り当ての場合、IP アドレスフィールドをユーザスキーマに追加することで認可ポリシーに実装します。  AAA クライアントプールとは、ACS で VSA 属性「ip-pool-definition」を設定する機能のことです。プール自体はスイッチまたはルータ自体で定義されます。
ダウンロード可能 ACL	Yes	Yes	
ユーザの補足情報	Yes	Yes	
ポリシーの条件の使用および値の認証のための拡張 ACS ユーザスキーマ	No	Yes	
ポリシーの条件や値の認証として利用可能なユーザ属性 (内部、AD、LDAP)	No	Yes	
ACS 内部ユーザの拡張パスワード認証	Yes	Yes	ACS 5 では、パスワードの格納はアクセス サービス ID ポリシーで指定する必要があり、ユーザのレコードでは指定できません。
時間をバインドする別のグループ	Yes	Yes	ACS 5 では、その日の時間に基づいてさまざまな権限を指定する場合に、時間ベースの条件を使用します。
Windows ダイアログボックスサポート	Yes	No	
<b>ACS 管理者</b>			
ネットワークの制限	Yes	Yes	
権限付与レポート	Yes	Yes	
パスワードの複雑度	Yes	Yes (強力)	
パスワードエージング	Yes	Yes	
パスワード履歴	Yes	Yes	
パスワードは非アクティブ	Yes	Yes	
失敗した試行によるアカウントのディセーブル化	Yes	Yes	
非アクティブなアカウントによるアカウントのディセーブル化	Yes	Yes	
権限コントロール	Yes	Yes (ロールベース)	

表 C-1 機能比較リスト : ACS 3.x/4.x と ACS 5.5 (続き)

機能	ACS 3.x と 4.x	ACS 5.5	注
<b>証明書ベースの認証/許可</b>			
必須 AD 許可	Yes	No	
SAN/CN 比較	Yes	No	ユーザ属性の存在を確認することで ACS 5.5 に間接的に実装できます
証明書のバイナリ比較	Yes	Yes	